

2024年11月6日

MINI COOPER が、2024-2025 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて、栄えある 10 ベスト・カーに選出

**BMW グループからの 10 ベスト・カーの選出は 15 年連続
MINI ブランドの車両の 10 ベスト・カー選出は 11 年振り**

「MINI COOPER」が、一般社団法人「日本カー・オブ・ザ・イヤー」実行委員会（実行委員長：加藤哲也）主催の 2024-2025 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて、並みいる強豪をおさえ、栄えある 10 ベスト・カーに選出された。

2024-2025 日本カー・オブ・ザ・イヤーは、2023 年 11 月 1 日から 2024 年 10 月 31 日までに発表または発売された多くの国産車、輸入車が選考対象となるが、「MINI COOPER」は一次選考において、上位 10 モデルとなる 10 ベスト・カーの栄冠に輝いた。

BMW グループにおいては、12 年前の 2012-2013 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて「BMW 3 シリーズ セダン/ツーリング」が、9 年前の 2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて「BMW 2 シリーズ アクティブ ツアラー/グラン ツアラー」が、4 年前の 2020-2021 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて現行モデルの「BMW 3 シリーズ セダン」が、さらに、昨年の 2023-2024 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて現行モデルの「BMW X1」が、輸入車の頂点となるインポート・カー・オブ・ザ・イヤーに輝いている。

また、10 年前には「BMW i3」がイノベーション部門賞（現：テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー）に、8 年前には「BMW M2」がエモーショナル部門賞（現在は廃止）に、6 年前には「BMW X2」がエモーショナル部門賞（現在は廃止）に、3 年前には「BMW 4 シリーズ」がデザイン・カー・オブ・ザ・イヤーに、2 年前には「BMW iX」がデザイン・カー・オブ・ザ・イヤーに輝いており、BMW グループの製品は、過去 15 年の内、インポート・カー・オブ・ザ・イヤーを含め、メジャーな賞を 9 つも受賞している。

BMW グループにおける過去 15 年の 10 ベスト・カー受賞歴

- 2010-2011 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 5 シリーズ
- 2011-2012 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 1 シリーズ
- 2012-2013 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ
- 2013-2014 日本カー・オブ・ザ・イヤー: MINI ペースマン
- 2014-2015 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW i3
- 2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 2 シリーズ アクティブ ツアラー/
グラン ツアラー
- 2016-2017 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW M2 クーペ
- 2017-2018 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 5 シリーズ
- 2018-2019 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW X2

- 2019-2020 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ セダン
- 2020-2021 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 2 シリーズ グラン クーペ
- 2021-2022 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 4 シリーズ
- 2022-2023 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW iX
- 2023-2024 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW X1
- 2024-2025 日本カー・オブ・ザ・イヤー: MINI COOPER

BMW グループにおける過去 15 年の受賞歴

インポート・カー・オブ・ザ・イヤー

- 2012-2013 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ
- 2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 2 シリーズ アクティブ ツアラー/
グラン ツアラー
- 2019-2020 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ セダン
- 2023-2024 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW X1

テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー

- 2014-2015 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW i3 (受賞時の受賞名はイノベーション部門賞)

デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー

- 2021-2022 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 4 シリーズ
- 2022-2023 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW iX

エモーショナル部門賞 (現在は廃止)

- 2016-2017 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW M2 クーペ
- 2018-2019 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW X2

MINI COOPER について

英国のプレミアム・ブランド MINI は、2002 年より BMW グループにて開発、生産および販売が行なわれているブランドであり、ドライビングのみならず、ライフスタイルを楽しむ人達に人気を博している。MINI は、伝統的な基幹モデルとなる「MINI COOPER」、電気自動車のみをラインアップする「MINI ACEMAN」、SUV モデルとなる「MINI COUNTRYMAN」の、3 つのラインアップから構成されている。

「MINI COOPER」には、ハッチバック・モデルとなる「MINI COOPER 3 DOOR」、3 DOOR をベースに 5 ドア・モデルにした「MINI COOPER 5 DOOR」、MINI COOPER 3 DOOR をベースにオープン・エア・ドライブが楽しめる「MINI COOPER CONVERTIBLE」の 3 つのボディ・タイプがある。

MINI は、新しい MINI デザイン言語により、ブランドのデザイン DNA を継承しつつ、MINI の本質的な価値への真摯な姿勢が、明瞭かつ流麗にモデル化されている。新しい MINI のデザイン言語は、「カリスマティック・シンプルシティー」と呼ばれているカリスマ的なシンプルさにより、コンポーネントの数を減らすことで、本筋にフォーカスし、感情的かつ直感的に感じ取れるアイデンティティが生まれている。新しい MINI のデザイン言語におけるもう 1 つの中心的な要素は、持続可能性を考慮した素材の選択である。全てにおいて刷新されたエクステリアおよびインテリア・デザインは、新型モデルであることを彷彿とさせており、さら

に、素材からクローム・パーツやレザーを排除し、代わりに採用した新素材にはリサイクル・ポリエステルやリサイクル・アルミニウムを利用するなど、将来を見据えた新世代モデルであることを印象付けている。機能面においても大幅な刷新が行なわれ、特に安全機能および運転支援システムにおいては格段に進化し、今までに経験したことのない、かつてない体験を提供する。

日本カー・オブ・ザ・イヤーについて

「日本カー・オブ・ザ・イヤー」は、日本のモータリゼーションの発展とコンシューマーへの最新モデルおよび最新技術の周知を目的として、1980年に創設された。現在、一般社団法人 日本カー・オブ・ザ・イヤーが構成する日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会により運営されている。

選考対象となるクルマは、前年の11月1日より当年の10月31日までに日本国内において発表された乗用車で、60名を上限とした選考委員の投票によって決定される。

また、その年を代表するクルマとなる「日本カー・オブ・ザ・イヤー」が日本メーカー車だった場合、海外メーカー車でもっとも多く得票したクルマに「インポート・カー・オブ・ザ・イヤー」が与えられる。

2022年までは、さらに4つの部門賞、「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」、「テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー」、「パフォーマンス・カー・オブ・ザ・イヤー」、「K CAR オブ・ザ・イヤー」が設けられていたが、2023年からは2つの部門賞が廃止され、現在の部門賞は、「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」と「テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー」の2つである。

1980年の創設以来「日本カー・オブ・ザ・イヤー」は、文字どおり日本を代表する“クルマの賞典”として、世界からも高く評価されている。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>